



学校だより

八が嶺薫風

令和6年8月28日

茅野市立北部中学校

校長 千野 憲一

2学期のスタート ~充実した83日間にしよう~

【2学期始業式で全校に話したこと】

夏休み中は本当に暑い日が続きましたが、まだしばらく残暑は続きそうです。また、夏休み中、新型コロナウイルスだけでなく、いろいろな感染症のニュースが入っていました。これからも熱中症予防、感染症予防等、体調管理をお願いします。



7月27日(土)に開幕したパリオリンピック。時間的に、生で観ることは難しかったのですが、期待通りメダルを獲得した選手やチーム。期待されながらも獲得できなかった選手やチーム。全ての選手や戦いの中に、オリンピックにかけるそれぞれの物語がありました。最後の1点を取り、勝ちきることの難しさを感じる試合が多かったように思います。そんな中、結果だけを見て、選手たちを傷つける誹謗中傷があったという話題もあり、大変悲しい気持ちになりましたが、選手の皆さんのひたむきさや最後まであきらめない姿に何度も感動を味わいました。

また、この夏休み中に地区の行事やイベントにボランティアとして参加してくれた皆さん、本当にありがとうございました。地域の一員として自主的に参加、活躍してくれる中学生の皆さんがいることが大変嬉しく、誇りに思っています。お盆前には政府から南海トラフ地震への注意の呼びかけがありました。今は解除されていますが、避難場所の確認や防災グッズの準備など日頃からの備えの大切さを見直していきましょう。それぞれの地区で防災訓練があると思います。中学生にもできることがあります。積極的な参加をお願いします。



さて2学期は「やつがね祭」、「音楽会」などの学校行事をはじめ、中体連新人大会、生徒会選挙と引き継ぎ、進路選択など、節目となる重要なことが多くあり、学校の教育活動が最も充実するときです。皆さんそれぞれが、自分の持っている良さをさらに伸ばしていける2学期になることを願っています。

新しい学期のスタートです。これから始まる生活における目標を定めて、意識し続けることが大事です。意識するには、文字に書いて残すとか、誰かに宣言するとよいです。何を目標に頑張っていこうか、じっくり考えてみてください。

それでは、2つの話をします。1つ目は「他喜力」を高めてほしいという話です。他喜力とは、メンタルトレーナー西田文郎さんの言葉ですが、これは字の通り「他人を喜ばせる力」です。人に感謝されると、これまでの苦労や疲れが吹き飛んでしまったという経験はないでしょうか。誰もが持っている感情ですが、この他喜力の強い人が大きな成果を残す人になると言われています。他人の喜びを自分の喜びに変換できる人は、地味で面倒な仕事、難しい課題に直面しても周りや環境に左右されず、高いモチベーションを維持する事が可能になります。人を喜ばすことで人は幸せになれます。

今年の生徒会目標の「みんなで創る笑顔が絶えない生徒会 “笑顔”あなたが輝く最高の瞬間」にも通じるものがあると思います。周りの人を笑顔にさせたい、輝かせたいということが、まさに「他喜力」ではないでしょうか。私は「喜ばせる」を「輝かせる」に変えて「他輝力」という字でも良いなと思っています。そして自分の思い通りにならなくても人のせいにならないことが他喜力(他輝力)をあげるポイントです。相手が成功するために「自分自身は何ができるか」考えることです。「相手を変える」ではなく「自分を変える」です。

2つ目は「勉強はなぜ必要か」という話です。八幡屋磯五郎の七味缶は、上の部分を回して

穴をそろえれば、中に入っている七味を出すことができますが、実は、穴の場所に決まりがあることを知っていますか。この缶に描かれている唐辛子のヘタの真上に穴があります。回していれば、そのうちに穴の空いている場所にあたるので、知らなくても困らないのですが、知っていれば一発で穴を見つけることができます。私は、これが「勉強は必要である」という答えの1つだと考えます。知らなくても何とかできます。生きていく上では困りません。しかし、**より便利で快適な生活を送るためには、知っていた方が良いでしょう**ということです。

もう一つの例です。ある日の午後、皆さんが家族のために夕食を作ろうと冷蔵庫を開けたらジャガイモとタマネギしか入っていません。さあ、どうしましょう。

食材が多ければ多いほど、作ることでできる料理が増えるので、まずは食材を増やそうとする人が多いのではないのでしょうか？ここで、この冷蔵庫はあなた自身だと考えます。あなた自身がたくさんの食材(知識)を持っていれば、いろいろな料理(可能性)が生まれてきます。つまり**知識をたくさん持っている方が、自分自身の可能性を広げられる**ということです。



さらにこんな考え方もできます。買い物には行かずに、ジャガイモとタマネギだけでできる料理を考えて乗り切る人もいることでしょう。天ぷら、フライ、炒め物、味噌汁…レシピの知識があればいろいろなものが作れて、きっと家族も喜んでくれます。つまり材料(知識)が限られていても、それらを使うレシピ(有効な使い方)をたくさん知っていれば、バリエーションは増えます。**知識をどう組み合わせるのか、どう活かすかというアイデア(発想)や知恵があれば、有効に使いこなして、豊かな生活を送ることができる**ということです。

しかし、発想や知恵も自然に身につくものではありません。前に聞いたことがある、**やったことがある、勉強したことがある**といった過去の経験が、**発想や知恵の源**になっています。困難な場面を乗り越えるために苦労したり、試行錯誤してきたりした人の方が発想や知恵が豊かかもしれません。だから、やっぱり**いろいろな体験や勉強をして、知識を増やしながらか、発想や知恵の引き出しも増やした方が、より豊かな生活を送れてよいのでは…**ということです。(冷蔵庫に食材がたくさん入っているし、レシピもいろいろ知っている方が良いでしょう。)

次の機会には、「発想の広げ方」についてのお話をしたいと思います。もっと知りたいという知的な好奇心があると、きっと伸びます。83日間の2学期、充実した毎日にしていきましょう。

県大会出場おめでとう！

【合唱部】NHK 全国学校音楽コンクール南信地区大会（7月27日）**金賞**→県大会進出
NHK 全国学校音楽コンクール県大会（8月9日）**銀賞**
(金賞は1校だけなので、実質 **長野県2位!!**)

<北中生の活躍の紹介>

第45回北信越中学校総合競技大会 女子 共通走り幅跳び 5m34cm で第2位!!

生徒の姿より

8月25日(日)の豊平地区防災訓練に1年生1名が参加してくれました。最初に、車椅子の避難者の介助をサポートするための着脱式の「JINRIKI」(じんりき)という道具の組み立て、取り付けの体験をしました。

初めての道具でしたので、参加者で試行錯誤しながらより良い使い方を考えました。1年生も車椅子に乗ってみたい、JINRIKIで引っ張ってみたい、貴重な体験ができました。そのあと、避難所開設の準備もしましたが、スムーズに進まず時間がかかりました。やってみないと分からないことが多く、日頃の準備の大切さを改めて感じました。



最後に修了証をもらいました